



## 「大野市民の会」とは！

同じ志を持つ新人のみの会派を設立しました。本会派は、「市民の声を市政に届けたい」「大野を活性化したい」「住みやすいまちにしたい」との思いで活動してまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

**会派理念：**市民の代弁者として、質の高い 議会をめざす

- \* 少子高齢化・人口減少を喫緊の課題と捉え、政策立案と提言
- \* 子育て・高齢者・障害者支援策の提言
- \* 大野市に見合った公共交通網・公共施設の政策立案と提言

- \* 地下水保全(健全な水循環)と水文化の創出
- \* ジェンダー Lessの取り組み推進

## 会派所属議員紹介



岸本 一敏  
有明町  
090-8184-4488  
54歳  
会長



#KAZUTOSHI\_KISHIMOTO0408

中部縦貫自動車道路全線開通により、経済的チャンスを迎えます大野市。市の活性化策や暮らしやすい街づくりを推進します。また、スポーツや文化の施設環境づくりを提言いたします。



帰山 寿章  
蕨生  
090-2122-1001  
61歳  
幹事長

先人から受け継がれて来た美しい山々や河川、清らかな地下水などの自然環境を守るため、農業や林業などの後継者育成や新たな担い手の確保に取組みます。また、快適な生活環境確保のため道路や上下水道などの社会基盤の整備に取組みます。



猪嶋 清文  
篠座町  
090-7082-3987  
55歳  
政調会長

市民の皆様の声に耳を傾け、住み続けたい結のまち「おおの」の実現に向けて持続可能なまちづくりを提言していきます。



笹山 晃一  
森本  
080-3047-5527  
37歳  
会計



周辺部施設の運営状況や活性化構想など、大野の観光拠点となる事業への提言、及び若者世代の活躍の場や意見について行政へ提案していきます。

# Q & A

質疑・代表・一般質問

## 第433回定例会市議会 (令和5年3月定例会)



### 代表質問 岸本 一敏 議員

**Q** 第六次大野市総合計画前期基本計画の六つの基本目標において、市長が最も訴えたいこと、特に力をいれたいことは？

**A** 高速交通網の県内延伸を最大のチャンスと捉え、地域経済の活性化。若者が大野に住んで、結婚して、子育てしたくなるような子育て・教育の整備環境を進める。

**Q** 現在までどのくらいの企業に誘致の働き掛けをしているのか？

**A** 平成28年度から現在まで、市単独で延べ約700件の企業訪問を実施。アンケート調査を14,000社へ発送し、約1,300社が回答頂き、「富田産業団地に魅力を感じる」と回答した約20社に対し、今後も委託業者を通じて聞き取りを行い、市が折衝を継続する。

**Q** 部活動地域移行推進事業として、運動部・文化部の中学校における休日部活動の段階的な地域移行の進捗状況は？

**A** 昨年8月から3競技団体に委託し実践研究を行い、受け入れ団体の理解により、着実に進捗している。課題を整理し、生徒が適した環境でスポーツ活動に親しめるよう、休日における部活動の地域移行を進めていく。  
文化部は市文化協会の理解を得ながら、令和5年度から取り組みを進める。

### 一般質問 帰山 寿章 議員



**Q** 大野市脱炭素ビジョン案の目標達成のためには、豊かな森の保全によるCO<sup>2</sup>吸収促進に向けた林業の新たな担い手確保が必須では？

**A** 将来の林業を担う人材を育成するため、県の施策として福井林業カレッジが、本市の施策として林業就業支援事業補助及び林業機械レンタル等事業補助がある。さらなる支援策について、関係機関と協議したい。

**Q** 快適で脱炭素なライフスタイルへの転換を図るため、どのように市民を巻き込むのか？

**A** 断熱性を高めた健康で快適な脱炭素住宅の普及、電気自動車など環境にやさしい車両への転換、JR越美北線など公共交通機関の利用促進、空調や冷蔵庫などの省エネ家電への買い替え、太陽光設備等の再生可能エネルギーの導入、ごみの減量化などの取り組みを普及啓発する。

(仮称)大野市脱炭素推進会議を新たに組織し、脱炭素プロジェクトを推進する。  
各地区で説明会を実施する。

**Q** 地域資源を活用した再生可能エネルギー導入の今後の方策は？

**A** すでに稼働しているバイオマス発電所があるが、関係者と連携して森林資源の好循環システムを確立し、燃料の安定供給を図っていく。  
小水力発電は、民間事業者が主導で取り組んでいる、FIT制度(再生可能エネルギー固定価格買取制度)を活用した整備が今後も進むみこみである。  
太陽光発電は冬の日光不足及び、積雪による発電量の低下から普及が進んでいないが、説明会などで普及を図る。

一般質問 猪嶋 清文 議員



**Q** 耐震上の問題から令和8年に使用できなくなる文化会館の今後の方向性とスケジュールをどのように想定しているのか？

**A** 令和5年度は、関係者や利用団体、地元区に対し現在の情勢を説明するとともに、利用団体の状況などについても調査し、取りまとめを行った後、関係団体などで構成する(仮称)「文化会館在り方検討委員会」を立ち上げる。1年くらいかけて協議を進め、その報告を受けて方針を決定していく。必要な予算を9月に計上したいと考えている。

**Q** 令和2年度に策定した大野市水循環基本計画について、2年経過した現時点の施策等の進捗状況は？

**A** 地下水のかん養量を確保するための、水田たん水面積の拡充や水環境の保全啓発を目的とした、イトヨの里管内の展示リニューアル、水文化の継承を目的とした、静に関する小矢戸区の年中行事の「おおの遺産」への登録を実施している。

**Q** 九頭竜湖など市内で増えている特定外来生物であるコクチバスの問題について、市はどのように認識しているのか？

**A** 根絶は難しいが、市も駆除活動に積極的に参加するとともに、問題の周知についても協力していきたい。



大野市のマスコットキャラクター



うぐピー うめピー ゆいピー かめじろう

## 一般質問 笹山 晃一 議員



**Q** 星空保護区認定後はどのような取り組みを予定しているのか？

**A** 星空ツアーや星空に関連した商品の売り上げが増えたり、宿泊者数が増えたりして、観光消費額の増加が見込める。既に認定を取得している国内の3地域と連携した取り組みや、民間事業者と共に開発した星空商品を国内外に向けて情報発信し、誘客につなげる。

**Q** 星空を見に来ても宿泊施設がないなどの意見もあるが、対策の検討はされているのか？

**A** フレアール和泉やパークホテル九頭竜の客室の魅力向上を図る改修をしている。また、民間宿泊施設の客室の個室化や改修を支援し、宿泊機能の充実を図っていく。

**Q** 市内に点在する空き家を宿泊施設に活用してはどうか？

**A** 市が回収する構想はないが、民間事業者が取り組む場合には支援を検討したい。

**Q** スターランドさかだにが再び休館にならないために、施設を運営する「スターランドさかだに」運営協議会とどのように協力していくのか？  
令和8年度末の譲渡後は、どのように施設を活用していくのか？

**A** 施設譲渡までの間は市が管理費用を負担することで運営を支援し、譲渡後に同協議会が主体となって運営する体制に移行していく。  
譲渡後も施設を有効活用するとともに、本市の特産であるソバや有機農業の振興を図り、地域の活性化と都市農村交流を通して、地域や来訪者に親しまれる拠点施設となるよう努める。

# Q & A

質疑・代表・一般質問

## 第435回定例市議会 (令和5年6月定例会)

### 一般質問 岸本 一敏 議員

**Q** 大野市文化会館整備基本計画どおりに整備を進めていくことが困難な理由は？

**A** 人口減少や物価高に伴う資材価格、人件費等の高騰が続くなど社会情勢が変化している。現基本計画で示された新たな文化会館の整備・運営の実現と財政的課題の解消の両立が困難である。

**Q** 整備を進めていくことが困難であると言って、市長の判断で大野市文化会館整備基本計画の変更はおかしいのでは？

**A** 本市の文化芸術活動の拠点となる施設について、できるだけ早い時期に方針を示す。現基本計画の整備も一つの案としながら、他の既存施設を活用した改修整備案も含め、文化会館の新しい在り方について検討する。

**Q** 大野市文化会館整備基本計画は今も生きている計画なのか？

**A** 今も生きている計画である。

**Q** 他の既存施設を活用した整備案とはどの施設を指すのか？

**A** 可能性のある施設としては「めいりん」。多目的利用ができるような、備えた類似施設ということを一応検討している。決定しているわけではない。

**Q** 文化会館は文化芸術の拠点だけではなく、地元住民の防災拠点と位置付けられている。万が一、移転するとなった場合の、地元住民の避難場所はどうなるのか？

**A** 文化会館は風水害・土砂災害・雪崩などの災害時の一時的な避難所として指定している。市全体の避難所の収容人数等を考慮し、市の別施設を代替避難所として開設する方向である。今検討中で具体的に決まっていない。

**Q** 文化会館の在り方検討ではなく、防災施設を兼ね備える文化会館の在り方検討ではないのか？

**A** 今課題となっている文化振興をどういうふうに拠点づくりをしていくのか、市民の発表の場をどうしていくのかといったところをまずどうにかしてあげたい。

## 日本一の星空発信事業

○3月26日、結とぴあで「星空保護区シンポジウム」が開催されました。星空保護区の認定機関となっている国際ダークスカイ協会へ星空の世界遺産ともよばれる「星空保護区」の認定を目指しています。大野市民の会もシンポジウム参加しました。



## 中部縦貫自動車道路

○3月19日。中部縦貫自動車道大野油坂道路の大野ICから勝原ICまでの区間が開通しました。令和5年秋には勝原ICから九頭竜ICまでの区間が開通します。大野市民の会もウォーキング参加しました。



## 第59回越前大野名水マラソン

○本市最大のスポーツイベント、5月28日に「越前大野名水マラソン」が開催されました。県内外より2,414人の参加がありました。4年ぶりにハーフマラソンの部も実施されました。大野市民の会も参加・完走しました。



## スターランドさかだに 再オープン

○5月3日、休館していたスターランドさかだにが再オープンしました。再開を記念し、手打ちそばの提供や地元野菜の販売が行われました。7月には第44回阪谷夏祭りも開催予定です。大野市民の会もオープンイベントに参加しました。



## モンベル物流センター完成

○3月9日、富田産業団地にアウトドア用品メーカーの株式会社モンベル、「北陸モンベル大野物流センター」が完成しました。



## おのヘルスウォーキングプログラム

○30歳以上の市民を対象に、歩くことから始める健康づくり推進する、ウォーキングプログラムが参加枠を2,470人に拡大し、募集されました。大野市民の会もプログラムに参加しています。



## 観光を軸に稼ぐ新組織設立事業

○将来にわたって持続可能な観光地域づくりを実現するため、新組織「仮称 一般社団法人 越前おの観光ビューロー」の今秋設立に向け、大野市観光協会、大野商工会議所、越前信用金庫、平成大野屋、大野市が準備を進めています。大野市観光協会、平成大野屋はそれぞれ新組織設立に伴い、「解散」する方向で決議されたと報告がありました。



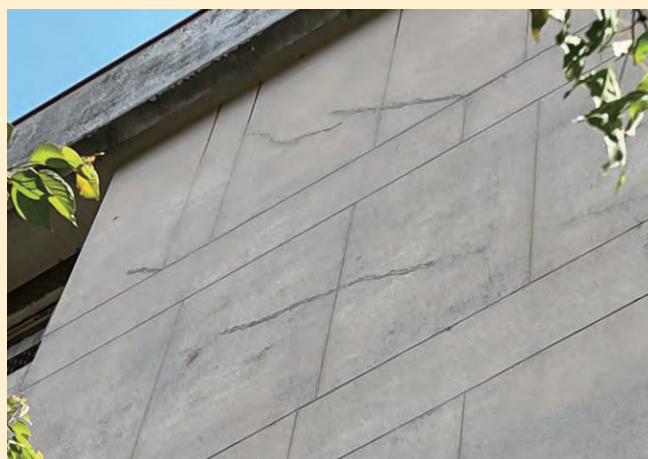
※イメージ写真

## 屋内型子どもの遊び場整備事業

○越前おのまちなか交流センターを改修し、子供たちが天候を気にすることなく楽しんでもらう「屋内型子どもの遊び場事業」に対し補正予算1,000万円が計上されました。実施設計業務受託者と指定管理予定者はプロポーザル方式で選定します。

## 大野市文化会館のあり方検討事業

○1966年(昭和41年)に建設された大野市文化会館も開館から57年を迎え、耐震性の問題から2026年(令和8年)には休館が決定しています。平成30年度に策定した整備基本計画も一つの案としつつ、他の既存施設を活用した、改修案や増築案を検討のため、あり方検討委員会を立ち上げ本年8月中に2回開催することとなります。**この8月までの2回の開催内容・意見を基に方向性が決定される可能性が高い**です。あり方検討委員会のメンバーは後日公募も含め報告されますが、地元区や文化・芸術に携わる方だけではなく、皆様各自でも考えていただきたい案件です。また、文化会館は地元区だけではなく、近隣住民の指定避難所・選挙投票所でもあります。



## 小中学校の大規模改修事業

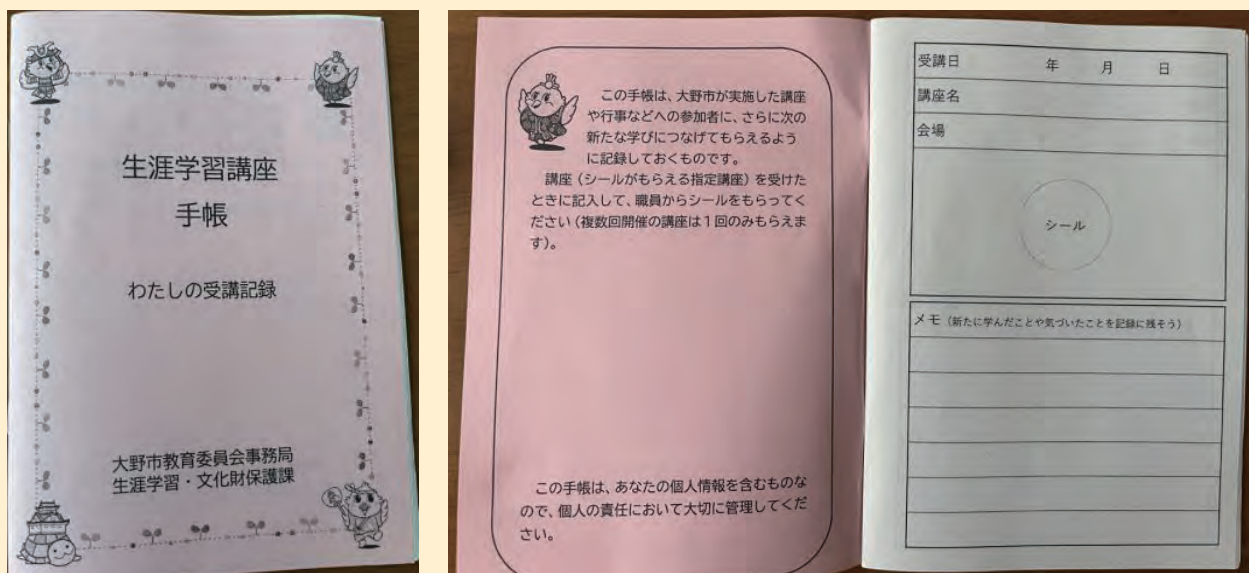
- 陽明中学校・開成中学校・下庄小学校の工事請負契約に係る工事は、令和7年3月末の完了に向け、今夏休みから本格的な工事着手となります。児童、生徒への学習に影響が出ないよう配慮することや、タイトな工事スケジュールとなっているため、適正な工期管理を求めています。

## 長期休業中の子どもの居場所づくり事業

- 長期休業中には実施されてこなかった放課後子ども教室を拡充し、乾川・小山・上庄・富田・阪谷地区の児童を対象に「学びと遊びと体験の広場」と称し、エキサイト広場を主会場に実施されます。

## 生涯学習講座手帳について

- 市民の生涯学習関連講座への受講意欲を高める目的に、受講者にシールを付与し、そのシールを多く集めた方を表彰する。また、一定数以上集めた方に対し、図書カードを進呈する取り組みを開始しました。受講者増加に向けて、様々な講座の実施も予定されています。



## 保育サービス向上支援システム導入事業

- 公立保育園3園に、アプリを活用したシステムを導入。保育士等による各種書類作成の効率化と、保護者と保育園の利便性と負担軽減により、質の高い保育サービス提供を目的とする事業です。

## 学童保育かんたん連絡ツール導入事業

- 公民館等で実施する放課後子ども教室と、児童館で実施する放課後児童クラブで、児童の出欠連絡、入・退出確認、保護者への事務連絡などをスマートフォンで行うことのできる専用アプリの導入事業です。





## 市議会の一年（令和5年）

会議名	期 間	日 数
3月定例会	2月24日～3月24日	26日間
6月定例会	6月5日～6月26日	22日間
9月定例会	9月4日～9月26日	23日間
12月定例会	未定	未定

- \* 暮らし産業常任委員会（全体8名）猪嶋議員、笹山議員
  - \* 総文厚生常任委員会（全体8名）岸本議員、帰山議員
  - \* 議会運営委員会（全体5名）帰山議員
  - \* 大野・勝山広域行政事務組合議会（全体5名）笹山議員、帰山議員
  - \* 福健後期高齢者医療広域連合議会（全体1名）
  - \* 中部縦貫自動車道等交通対策特別委員会（全体7名）帰山議員、岸本議員
  - \* こども政策・公共施設等改革特別委員会（全体7名）猪嶋議員、笹山議員
  - \* 議会だより編集委員会（全体4名）岸本議員
  - \* その他として臨時会を年数回実施
- 各委員会においてそれぞれ招集されます。

## 常任委員会の所管

委員会	所管部局	所管課	委員会審査数	
総文厚生常任委員会	行政経営部	政策推進課(秘書広報室)、総務課(契約管理室)、財政経営課、税務課	4	13
	健幸福祉部	福祉課、健康長寿課、スポーツ推進課	3	
	教育委員会事務局	教育総務課、こども支援課、生涯学習・文化財保護課	3	
	行政委員会事務局	選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、監査委員	1	
	会計課	会計課	1	
	議会事務局	議会事務局	1	
暮らし産業常任委員会	地域経済部	産業政策課(企業立地推進室、中部縦貫自動車道整備促進室)	3	11
		観光交流課、農業林業振興課(農業委員会)		
	暮らし環境部	建設整備課、交通住宅まちづくり課、環境・水循環課、上下水道課	4	
	地域づくり部	地域文化課(住民振興室)、市民生活・統計課、防災防犯課	3	
	消防本部	総務課、予防課、警防課(通信指令室)	1	

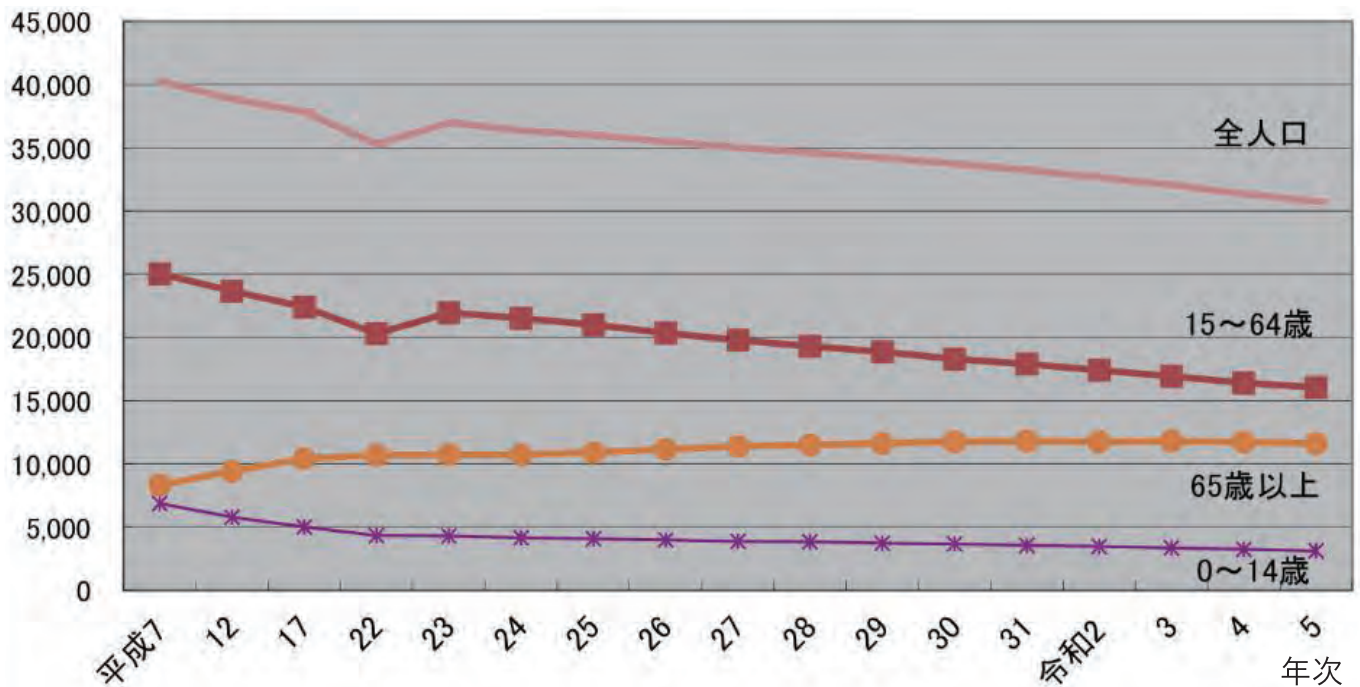
## 令和5年度当初予算

会計名	予算額	対前年度増減率%
一般会計	190億5000万円	10.3
特別会計	84億5918万円	3.1
企業会計	22億5975万円	3.5
総計	297億6893万円	7.6

※特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など6会計の合計額、  
企業会計は、水道事業、簡易水道事業、下水道事業の3会計の合計額

## 年代別人口の推移

人口



お時間が御座いましたら  
議会傍聴へお越してください！